

株式会社アニマックスブロードキャスト・ジャパン

キッズステーション 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2025年（令和7年）12月
2. 開催場所 恵比寿ガーデンプレイスタワー20階会議室Room D
3. 委員出席

委員総数 7名  
出席委員数 7名（対面参加6名、書面参加1名）  
出席委員の氏名 重村 一（委員長）  
内山 隆  
高橋 望  
金子 ありさ  
森川 美穂  
小牧 次郎  
樹林 ゆう子（書面参加）

4. 議題

1. アニマックスとキッズステーションの「放送番組の編集の基準」変更について
2. 審議作品  
「はたらくのりものタイムトラベル」第1-4話（計4話、各13分）  
放送日程：2025年8月23日から 毎週土曜11:30～（キッズステーション）

審議作品概要：私たちの生活を支える「はたらくのりもの」の進化をたどるキッズステーションオリジナルのりものエデュテイメント番組です。清掃車や電車、新幹線、自動車、飛行機など……ありとあらゆるのりものの、過去、現在、未来を通してその秘密を探る番組です。

5. 議事の概要

1. アニマックスとキッズステーションの放送番組の編集の基準が、旧放送法

の内容になっているため、現状の放送法に沿った文言へと変更します。

2. 議事進行を重村委員長に委任し、従前に視聴していただいた審議作品について、参集いただいた各委員より、以下の内容についてご意見をいただく形式とした。

1. 本作品のご感想。

2. 本作品のターゲットは未就学児から小学生を中心に、そのご家族である親御様や祖父母の世代まで、三世代にわたって設定しております。実際にご覧になられて、そのようなターゲット設定としてお感じになりましたでしょうか。

3. 番組をご覧になって子どもたちが「生活を支えていくのりもの」に興味を持ち、のりものが発達してきた背景にある人々の動きや技術の進歩を学べるようなエデュテイメント（教育・娯楽）番組であるとお感じになりましたでしょうか。

4. その他、番組内の表現やテーマなどでお気づきの点などがございましたらご意見をお聞かせください。

## 6. 審議内容

- ・ 新たな発見もあったため作品内容は面白いとは思いますが、これでキッズステーションを契約しようと思う人が多くいるのか疑問。
- ・ グッズを作りづらい分野ではあるとは思いますが、放送収入だけではなく、グッズなど事業外収入を得るべき。
- ・ 今まで観た子ども向けの中だと一番面白い。結構マニアック。細部まで取材していて情報が細かい。子ども向け番組だから子ども向けに作るというイメージがあるが、そうではないと思う。マニアックなところを知っているところが、子どもにとってはプラスに働く部分がある。
- ・ 全世代向けというところで、自分自身も楽しく観られた。1話～12話までの中、大人もファンがいる分野の乗り物が多く、お父さんと子どもなど、全世代で観られそう。
- ・ 親は共働きが多く、子どもは一人でいることも多いため、保育園、学童保育などで放送していくのはどうか。法人契約をしてそこを起点に家庭契約にもつなげるなどをやっていかなければならない。
- ・ 昔にも似た番組があり、当時の子どもも好きだったように子どもが乗り物や車を好きなのは変わらない。その上で、どの世代に向けて作っているのかが不明。未就学児に

向けて実施するのであれば歌は必須。もう少し上の世代にするのであればもう少し難しい内容でもいいかも。

- ・ とても面白く観られた。構成もわかりやすく、よくできている。とくにゴミ清掃車など、普段、子どもたちが関心を抱くことの少ない車を取りあげたのは評価できる。
- ・ 「のりもの」だから仕方ないと思うが、テーマが女兒には関心が薄いものがどうしても多くなってしまう。
- ・ 現在子ども向けアニメは減ってきている。キッズステーションという名前であるので、徹底的に子ども向けのアニメを作ってみるというのもいいのではないか。
- ・ 子どもにとっては難しい用語があり、背伸びな部分もあるが、父親が用語や内容を解説するなどを想定し、上の年齢をターゲットにしてもいいかもと思った。
- ・ すごく楽しく視聴できた一方で、エディテイメント関連は取材先に依存する課題もあると感じた。1社に偏ってしまうと教育的にはよくないのではないか。子ども向けだからこそ正しいルーツを取り上げてほしい。
- ・ 親世代でも面白く観られたというところは良いが、未就学児をターゲットにしているにしては用語（例：エアバッグ、在来線）が難しいところも多い。基礎知識についてももう少し気を遣えるとよいのではないか。
- ・ 男性のナビゲーターが出てきたときに少し興味が湧いた。母など親世代の女性に見ていただきたいのであれば男性のナビゲーターにすると興味が湧きやすい。
- ・ 息子が小さい年齢の時にこういう番組があったら面白いと思ったのではないかと思う。その一方で軽量化、環境に配慮など言葉が難しい。未就学児が聞いてもわからない言葉が多いと思う。
- ・ 子ども向けということもあり、語り口調のトーンが高く、元気に呼びかけるような内容になる。大人が見るには少しテンション感が強く感じる。
- ・ 有料放送ではターゲットをもう少し狭めてもよいのではないか。4：3の時に放送していたような子ども向け番組を流してみてもいいと思う。
- ・ 技術の発展に力を注いできた「人」の姿も少し紹介できたらよかった。
- ・ 全体的にカタカナの言葉が多い部分が気になる。少し注釈をつけると、知識として取り込みやすくなると思う。

## 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

1. 放送番組の編集の基準の変更について、承認を得られた。
2. 番組演出の改善点など、今後作品をよりよくしていくためのアイデアも多く教示いただきました。こうした各員からのご意見を制作者に共有し、今後の制作の参考として参ります。

以上